

新医薬品が薬価収載されましたのでお知らせいたします。

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	包装単位	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	規制等	承認年月日	備考
1	113	内用薬	フィコンパ細粒1%	1%1g	1,068.90円	100g (ボトル)	エーザイ	ベランパネル水和物	てんかん患者の部分発作（二次性全般化発作を含む） 他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の強直間代発作に対する抗てんかん薬との併用療法	<部分発作〔二次性全般化発作を含む〕に用いる場合> 〔単剤療法〕 通常、成人及び4歳以上の小児にはベランパネルとして1日1回2mgの就寝前経口投与より開始し、その後2週間以上の間隔をあけて2mgずつ漸増する。維持用量は1日1回4～8mgとする。なお、症状により2週間以上の間隔をあけて2mg以下ずつ適宜増減するが、1日最高8mgまでとする。 〔併用療法〕 通常、成人及び12歳以上の小児にはベランパネルとして1日1回2mgの就寝前経口投与より開始し、その後1週間以上の間隔をあけて2mgずつ漸増する。本剤の代謝を促進する抗てんかん薬を併用しない場合の維持用量は1日1回4～8mg、併用する場合の維持用量は1日1回8～12mgとする。なお、症状により1週間以上の間隔をあけて2mg以下ずつ適宜増減するが、1日最高12mgまでとする。 通常、4歳以上12歳未満の小児にはベランパネルとして1日1回2mgの就寝前経口投与より開始し、その後2週間以上の間隔をあけて2mgずつ漸増する。本剤の代謝を促進する抗てんかん薬を併用しない場合の維持用量は1日1回4～8mg、併用する場合の維持用量は1日1回8～12mgとする。なお、症状により2週間以上の間隔をあけて2mg以下ずつ適宜増減するが、1日最高12mgまでとする。 <強直間代発作に用いる場合> 〔併用療法〕 通常、成人及び12歳以上の小児にはベランパネルとして1日1回2mgの就寝前経口投与より開始し、その後1週間以上の間隔をあけて2mgずつ漸増する。本剤の代謝を促進する抗てんかん薬を併用しない場合の維持用量は1日1回8mg、併用する場合の維持用量は1日1回8～12mgとする。なお、症状により1週間以上の間隔をあけて2mg以下ずつ適宜増減するが、1日最高12mgまでとする。	処方	R2.1.23	新効能、新用量、剤形追加
2	119	内用薬	デエビゴ錠2.5mg	2.5mg1錠	57.30円	100錠 (PTP10T×10)	エーザイ	レンボレキサント	不眠症	通常、成人にはレンボレキサントとして1日1回5mgを就寝直前に経口投与する。なお、症状により適宜増減するが、1日1回10mgを超えないこととする。	処方	R2.1.23	新有効成分
			デエビゴ錠5mg	5mg1錠	90.80円	100錠 (PTP10T×10)							
			デエビゴ錠10mg	10mg1錠	136.20円	100錠 (PTP10T×10)							
3	394	内用薬	ユリス錠0.5mg	0.5mg1錠	30.00円	100錠[10錠 (PTP)×10]	富士薬品	ドチヌラド	痛風、高尿酸血症	通常、成人にはドチヌラドとして1日0.5mgより開始し、1日1回経口投与する。その後は血中尿酸値を確認しながら必要に応じて徐々に増量する。維持量は通常1日1回2mgで、患者の状態に応じて適宜増減するが、最大投与量は1日1回4mgとする。	処方	R2.1.23	新有効成分
			ユリス錠1mg	1mg1錠	54.80円	100錠[10錠 (PTP)×10]							
			ユリス錠2mg	2mg1錠	100.20円	100錠[10錠 (PTP)×10]							
4	399	内用薬	リンヴォック錠7.5mg	7.5mg1錠	2,550.90円	30錠[10錠 (PTP)×3]	アヅヴィ	ウパダシチニブ水和物	既存治療で効果不十分な関節リウマチ（関節の構造的損傷の防止を含む）	通常、成人にはウパダシチニブとして15mgを1日1回経口投与する。なお、患者の状態に応じて7.5mgを1日1回投与することができる。	劇、処方	R2.1.23	新有効成分
			リンヴォック錠15mg	15mg1錠	4,972.80円	30錠[10錠 (PTP)×3]							
5	429	内用薬	ニユベオ錠300mg	300mg1錠	2,311.00円	56錠[8錠 (PTP)×7]	バイエル薬品	ダロルタミド	遠隔転移を有しない去勢抵抗性前立腺癌	通常、成人にはダロルタミドとして1回600mgを1日2回、食後に経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。	劇、処方	R2.1.23	新有効成分

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	包装単位	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	規制等	承認年月日	備考
6	617	内用薬	ノクサフィル錠100mg	100mg1錠	3,109.10円	48錠[12錠(PTP)×4]	MSD	ボサコナゾール	○造血幹細胞移植患者又は好中球減少が予測される血液悪性腫瘍患者における深在性真菌症の予防 ○下記の真菌症の治療 フサリウム症、ムーコル症、コクシジオイデス症、クロモプラストミコーシス、菌腫	通常、成人にはボサコナゾールとして初日は1回300mgを1日2回、2日目以降は300mgを1日1回経口投与する。	劇、処方	R2.1.23	新有効成分
7	243	注射薬	チラーヂンS静注液200µg	200µg1mL1管	20,211円	2管	あすか製薬	レボチロキシナトリウム水和物	粘液水腫性昏睡、甲状腺機能低下症（ただし、レボチロキシナトリウム経口製剤による治療が適さない場合に限る） 甲状腺機能低下症（ただし、レボチロキシナトリウム経口製剤による治療が適さない場合に限る） 本剤を日局生理食塩液で希釈し、通常、成人には、レボチロキシナトリウムとして、25µgから投与を開始し、50～150µgを維持用量として、1日1回、緩徐に静脈内投与する。 なお、患者の状態に応じて適宜増減する。	粘液水腫性昏睡 本剤を日局生理食塩液で希釈し、通常、成人には、レボチロキシナトリウムとして、1日目は50～400µgを緩徐に静脈内投与し、2日目以降は50～100µgを1日1回、緩徐に静脈内投与する。 なお、患者の状態に応じて適宜増減する。	劇、処方	R2.1.23	新投与経路
8	617	注射薬	ノクサフィル点滴静注300mg	300mg1瓶	28,508円	1/バイアル(16.7mL)×10	MSD	ボサコナゾール	○造血幹細胞移植患者又は好中球減少が予測される血液悪性腫瘍患者における深在性真菌症の予防 ○下記の真菌症の治療 フサリウム症、ムーコル症、コクシジオイデス症、クロモプラストミコーシス、菌腫	通常、成人にはボサコナゾールとして初日は1回300mgを1日2回、2日目以降は300mgを1日1回、中心静脈ラインから約90分間かけて緩徐に点滴静注する。	劇、処方	R2.1.23	新有効成分
9	269	外用薬	コレクチム軟膏0.5%	0.5%1g	139.70円	5g[10本]	日本たばこ産業	デルゴシチニブ	アトピー性皮膚炎	通常、成人には、1日2回、適量を患部に塗布する。なお、1回あたりの塗布量は5gまでとする。	処方	R2.1.23	新有効成分

- ・薬価については官報をご確認下さい。
- ・承認時段階の情報につきましては、適宜、日本薬剤師会雑誌の日薬医薬品情報に掲載しておりますのでご参照下さい。

- ・薬価に関する情報は「官報」でもご確認下さい。
- ・承認に関する情報は「医薬品医療機器情報提供ホームページ」の新薬の承認に関する情報もご参照下さい。
- ・医薬品薬価マスターに関する情報は「診療報酬情報提供サービス」をご参照下さい。
- ・医薬品コードに関する情報は「薬価基準収載医薬品コード表(MEDIS-DC提供)」をご参照下さい。